

<解説> 1 - 1 地域開発計画（全 34 ページ、使用資料 15 点、全資料 32 点）

<内容のポイント>

- ①北海道開発庁の開発計画の内容を概観し、その進捗状況と現実との差異を検討する。
- ②政府・全総計画が北海道に何を期待していたのか。全総計画の中の北海道部分を検討し、国策としての北海道開発の目的を明らかにする。
- ③1977年に北海道独自の発展計画が作成されたが、その理由と内容について概観する。
- ④1990年代以降、北海道独自の地域づくり開発が徐々に全道に広がっていくが、地域開発内容の変化と住民意識の変化の要因について概観する。
- ⑤北海道に関わる開発について可能な限り「北海道開発の光と影」を意識してまとめる。
- ⑥政治・行政部会（山崎）の「開発行政」との関わりでは、各期の北海道開発計画の資料内容（主として北海道の開発・発展方向）の比較検討を中心に論述するので、北海道開発庁設置時のやりとりや北海道庁の開発行政・執行をめぐる諸問題等には触れない。

第一節 北海道開発計画・事業の特殊性

- 1 明治維新以来の国策としての北海道開発
- 2 開発法策定の背景と内容、開発事業推進の特殊性
- 3 開発庁と開発局組織、開発予算（北海道開発事業補助の特例）

第二節 戦後復興期から高度経済成長に至るまでの北海道開発計画の特徴

- 1 第1期計画～資源開発の意義・開発論争
- 2 第2期計画～大規模工業開発と農業の近代化（一全総との関わり）
- 3 第3期計画～国際化・巨大開発計画（新全総・列島改造論との関わり）

第三節 石油危機から円高・バブル経済へ

- 1 北海道発展計画(1977.7)の作成とその理由（序文）、開発庁計画の空虚性
- 2 第4期計画～地域総合環境圏構想と地方分散政策（三全総の定住圏構想）
- 3 多極分散型国土形成（四全総・世界都市東京）と北海道（札幌1極集中加速）
- 4 プラザ合意と円高経済＝道新長期計画(1988.4)、（15戦略プロ、6圏設定）
- 5 第5期計画～バブル経済と北海道（都市再開発と大規模リゾート開発）

第四節 バブル経済崩壊から長期停滞、行政改革、小泉構造改革

- 1 大規模開発（苫東・リゾート）の破たんと経済の長期停滞
- 2 第三次道長計(1998.4)～15戦略プロ廃止、6圏域特性の強調
- 3 第6期計画（苫東開発等維持）と5全総（国土計画の混乱）
（均衡ある地域発展から3大都市圏中心の地域開発政策へ、地方の切り捨て）
- 4 行政改革（省庁再編）と地方財政の三位一体改革（地方財政の悪化）
（財政悪化と公共投資の低下、自立した北海道経済へ、国策従属から自立化へ）

＜資料＞（使用予定 15 資料＝ゴシック、+ α 17 参考資料）

(1) 全国総合開発計画（経済企画庁・国土庁・国土交通省）

- ① 復興国土計画要綱（1946.9 内務省）
- ② 全国総合開発計画（1962.10 経済企画庁）（拠点開発方式と均衡ある国土発展）
- ③ 新全国総合開発計画（1969.5 経企庁）（大規模開発と高速交通ネットワーク）
- ④ 第3次全国総合開発計画（1977.11 国土庁）（定住圏構想＝地方分散政策）
- ⑤ 第4次全国総合開発計画（1987.6 国土庁）（多極分散型国土構造＝世界都市東京）
- ⑥ 21世紀の国土のグランドデザイン（5全総・1998.3 国土庁）（多軸型国土構造）
- ⑦ 国土形成計画（2008.7 国土交通省）（1極1軸型国土構造＝3大都市圏と地域統合）

(2) 国策による北海道総合開発計画（北海道開発庁・北海道局、国土計画との関連）

- ① 北海道開発法・北海道開発の位置づけ（第2条第1項・第2項）
- ② 第1期北海道総合開発計画（1952～1962年度）
（第1次5カ年計画～北海道開発論争～第2次5カ年計画）
- ③ 第2期北海道総合開発計画（1963～1970年度）（所得倍増計画に対応するものは？）
- ④ 第3期北海道総合開発計画（1971～1980→1977年度）
- ⑤ 第4期北海道総合開発計画（1978～1987年度）（総合環境圏構想）
- ⑥ 第5期北海道総合開発計画（1988～1997年度）
（バブル経済と道庁・戦プロとのタイアップ）
- ⑦ 第6期北海道総合開発計画（1998～2007年度）
（日本経済に従属的な北海道開発からの離脱傾向）
- ⑧ 北海道開発庁の統廃合と北海道開発計画の位置（北海道局・開発局の位置）

(3) 北海道庁による長期総合計画

- ① 北海道発展計画（1978～1987年度）
（4期計画に反映させるため、北海道開発庁計画との相異）
- ② 北海道新長期総合計画（1988～1997年度）（点検・改訂のローリングシステム導入）
- ③ 第3次北海道長期総合計画（1998～2007年度）（21世紀北海道発展の基礎づくり）

(4) 道内の主要な地域開発計画・事業

- ① 北海道の資源開発（北海道開発計画の目的＝天然資源・水力資源）
- ② 苫小牧西港開発とその意義
- ③ 道央新産業都市建設の意義・効果は？実績は？
- ④ 低開発地域工業開発の意義・効果？
- ⑤ 苫東開発と新全総・日本列島改造論（無駄な投資の典型）、苫東（株）の破産
- ⑥ 石狩湾新港開発
- ⑦ 苫小牧東部開発計画と住民の闘い
- ⑧ 沙流川水系総合開発の光と影（日本で唯一の違法ダム）
- ⑨ 千歳川放水路計画の中止と遊水地開発
- ⑩ 道央・函館のテクノポリス構想とは
- ⑪ 北海道新長期総合計画における15戦略プロジェクトの実効性
- ⑫ 士幌高原道路計画と中止（時のアセスメントとの関連）
- ⑬ 浦臼リゾート開発問題
- ⑭ 北海道1村1品運動の成果は？